

【特集】

八幡平からの挑戦

アンソメット岩手八幡平 全国クラブチームの頂点に

新潟県の新発田市五十公野公園陸上競技場など5会場で10月30日から11月3日まで開かれた「第17回全国クラブチームサッカー選手権大会」。八幡平市に本拠を置き昨年の春に始動したアンソメット岩手八幡平が昨年に続く出場で悲願の初優勝を果たした。地域に根差し、市民に愛されるチームを目指し、いずれはJと名の付く舞台へ。アンソメットの歴史への物語は幕を開けたに過ぎない。（特集11頁まで）



決勝

アンソメット
岩手八幡平 2 - 0 F C 川崎
【岩手】 【岐阜】

大会無失点でつかんだV

初優勝を懸けて臨んだF C 川崎との決勝戦。決勝にふさわしく一進一退の攻防が続き、0対0で前半を折り返す。しかし、アンソメットに焦りはなかった。後半に入ると徐々にリズムをつかみ、53分F W山口が右サイドから切れ込み、均衡を破るゴールを決める。終了間際の67分にはD FシムがヘディングでつないだボールをF W藤井が右足で確実に決め試合を決定づけた。そして、鳴り響く試合終了のホイッスル。アンソメットが前回の2回戦敗退の雪辱を果たし、大会初優勝、しかも無失点で栄冠をつかんだ。

11月3日 新発田市五十公野公園陸上競技場									
アンソメット 岩手八幡平		2	0 前 2 後	0	F C 川崎				
矢部憲一	1	GK		GK	21	吉村成貴			
久保篤史	22	DF		DF	5	小寺勝也			
シム・キュワン	8				23	松野太一			
寺石勇斗	4				4	渡辺貴也			
西田健吾	11				12	堀江敏史			
リカルド・ベルメーリョ	6	MF		MF	13	板津慶太			
松下晋也	5				9	立道公太			
一ノ渡靖彦	20				15	藤田英明			
千葉龍弥	17				8	山本 賢			
藤井 貴	10	FW		FW	10	原田啓佑			
山口将造	14				7	岩田利彦			
丸山富洋			監督	監督		高橋 誠			
前5後3		8	シュート		3	前2後1			
山口(53分)		1 - 0	得点						
藤井(67分)		2 - 0							
68分 森金大貴(一ノ渡)			交代		66分 久野翔平(藤田)				
69分 丸山富洋(山口)									
70分 堀 一輝(久保)									
70分 玉那覇翔太(千葉)									
リカルド、藤井			警告						



(左)ゴールを決め喜びを分かち合う選手たち
今大会はチームの一体感が快進撃を生んだ

(中)優勝トロフィーを手にし歓喜に沸くアンソメットの選手たち

(右)選手たちから胴上げされる丸山監督

準決勝

アンソメット
岩手八幡平 6 - 0 FC駒沢
【岩手】 【東京】

大量6得点で決勝へ進出

準決勝の相手はF C 駒沢Griffin。この試合、アンソメットの攻撃陣が大爆発する。29分、右サイドMFイからのクロスをもつ山口が右足で決め先制するとゴールラッシュの幕開け。31分にMFイ、前半ロスタイムにはMF一ノ渡、後半に入るとF W山口とMF一ノ渡がそれぞれこの試合2点目のゴール。仕上げはMF千葉が67分に頭で合わせゴール。守備も相手をシュート1本に抑え、6対0の完勝で決勝の舞台へ駒を進めた。

11月2日 新発田市五十公野公園陸上競技場									
アンソメット 岩手八幡平		6	3 前 3 後	0	F C 駒沢 Griffin				
矢部憲一	1	GK		GK	1	稲本勇生			
久保篤史	22	DF		DF	6	審 恭輔			
シム・キュワン	8				3	高野英司			
寺石勇斗	4				23	石川剛士			
西田健吾	11			MF	5	岡本貴臣			
松下晋也	5	MF			19	末永良樹			
リカルド・ベルメーリョ	6				34	黒岩朋宏			
一ノ渡靖彦	20				7	竹内祐樹			
イ・ファソプ	9				10	北野達也			
藤井 貴	10	FW			8	山崎貴史			
山口将造	14			FW	11	今村玄紀			
丸山富洋			監督	監督		石田 学			
前7後7		14	シュート		1	前0後1			
山口(29分)		1 - 0	得点						
イ(31分)		2 - 0							
一ノ渡(36分)		3 - 0							
山口(38分)		4 - 0							
一ノ渡(47分)		5 - 0							
千葉(67分)		6 - 0							
43分 千葉龍弥(松下)			交代		HT 野村賢吾(審)				
48分 森金大貴(山口)					54分 山下 遼(竹内)				
51分 玉那覇翔太(久保)					58分 小島 浩(石川)				
56分 堀 一輝(藤井)					61分 木戸浩基(今村)				
59分 丸山富洋(シム)									
イ			警告		黒岩、末永、野村、今村				



栄冠の戦績

2年連続の出場で前回大会の2回戦敗退の雪辱を晴らし、県勢として2年連続の全国制覇を果たしたアンソメット。無失点で全国クラブチームの頂点に上り詰めた戦績をたどります。

準々決勝

アンソメット
岩手八幡平 2 - 0 AS
【岩手】 ジャミネイロ
【新潟】

後半に攻撃陣が目覚める

準々決勝は地元・ASジャミネイロとの対戦。アンソメットは、試合開始早々から積極的に攻撃を仕掛けていき、前半だけで18本もシュートを放つもなかなかゴールを奪えない。0対0で迎えた後半、落ち着きを取り戻したアンソメットは44分、MFイ・ファソプがゴール前のこぼれ球を押し込み待望のゴール。64分にはDF松下のパスを受けたF W藤井が2試合連続となるゴールを冷静に決める。守備陣も相手の攻撃を跳ね返し、地元相手の完全アウェーのスタジアムで、アンソメットは準決勝の進出を決めた。

11月1日 新発田市五十公野公園サン・スポーツランド									
アンソメット 岩手八幡平		2	0 前 2 後	0	ASジャミネイロ				
矢部憲一	1	GK		GK	32	石崎 徹			
寺石勇斗	4	DF		DF	2	角 直也			
松下晋也	5				5	堀川貴康			
リカルド・ベルメーリョ	6				17	岡村寿秀			
久保篤史	22			MF	7	原田 拓			
シム・キュワン	8	MF			16	長瀬 聡			
イ・ファソプ	9				21	安藤 寛			
一ノ渡靖彦	20				23	梅山 修			
藤井 貴	10	FW		FW	9	阿部孝亨			
西田健吾	11				10	長島敦久			
山口将造	14				25	谷口洋和			
丸山富洋			監督	監督		浅妻 信			
前18後5		23	シュート		7	前7後0			
イ(44分)		1 - 0	得点						
藤井(64分)		2 - 0							
63分 千葉龍弥(一ノ渡)			交代		HT 朴 成仁(岡村)				
68分 森金大貴(イ)					50分 高橋 啓一(谷口)				
69分 玉那覇翔太(久保)					71分 森下英矢(長瀬)				
71分 堀 一輝(リカルド)									
シム			警告						

2回戦

アンソメット
岩手八幡平 2 - 0 富山新庄
【岩手】 クラブ
【富山】

強豪相手にFW2発で快勝

前回大会でF Cガンジュ岩手が優勝したため、1回戦はシードのアンソメット。この試合が初戦となった。富山新庄クラブは、J2カターレ富山に所属していた選手が多く在籍し、今年の天皇杯では富山県代表として出場した強豪。しかし、アンソメットは、立ち上がりからゲームを支配していく。7分にF W西田からのパスを受けたF W山口が右足を振り抜き先制点を挙げる。後半開始早々にもF W藤井が追加点を決めて相手を引き離れたアンソメットは、その後は相手にシュートすら打たせず、2対0の快勝で初戦を突破した。

10月31日 新潟聖籠スポーツセンター(アルビレッジ)									
アンソメット 岩手八幡平		2	1 前 1 後	0	富山新庄クラブ				
矢部憲一	1	GK		GK	1	青木大輔			
丸山富洋	2	DF		DF	3	畑 寛征			
寺石勇斗	4				6	山浦啓介			
シム・キュワン	8				7	辻石聖也			
久保篤史	22				12	栗尾 孝			
松下晋也	5	MF		MF	8	木下良介			
リカルド・ベルメーリョ	6				17	前田剛史			
イ・ファソプ	9				25	菊池琢哉			
藤井 貴	10	FW			26	景山健司			
西田健吾	11			FW	10	金丸浩之			
山口将造	14				24	石黒智久			
丸山富洋			監督	監督		堀 勝弘			
前6後3		9	シュート		7	前7後0			
山口(7分)		1 - 0	得点						
藤井(36分)		2 - 0							
28分 一ノ渡靖彦(西田)			交代		HT 浅島孝之(菊池)				
59分 千葉龍弥(イ)					43分 和田 勝(木下)				
66分 堀 一輝(山口)					60分 松谷謙吾(石黒)				
66分 森金大貴(丸山)									
イ、松下			警告		木下、景山、辻石				